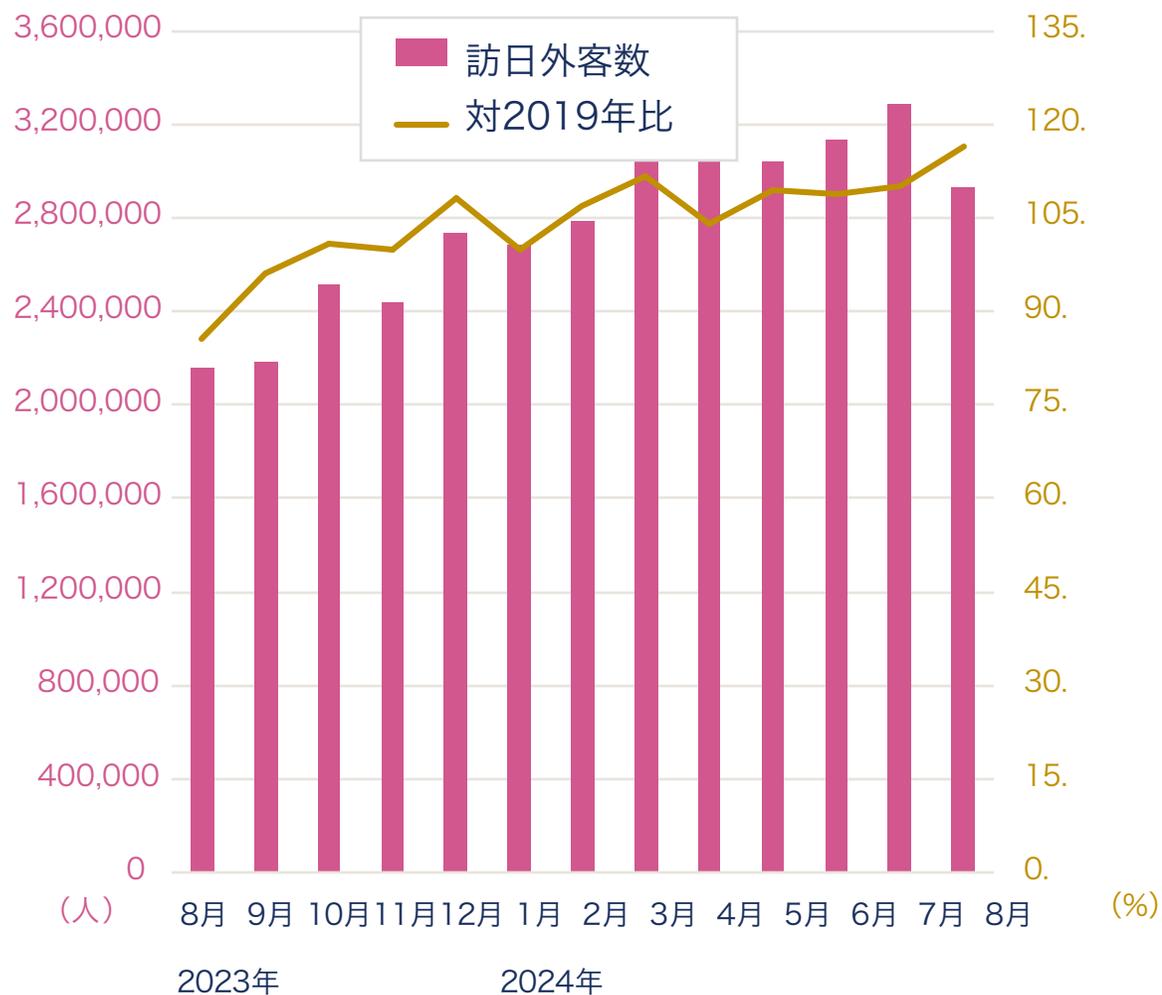


2024年10月 インバウンドマーケット資料





8月の訪日外客数 293万人 7ヶ月連続で 同月過去最高を記録

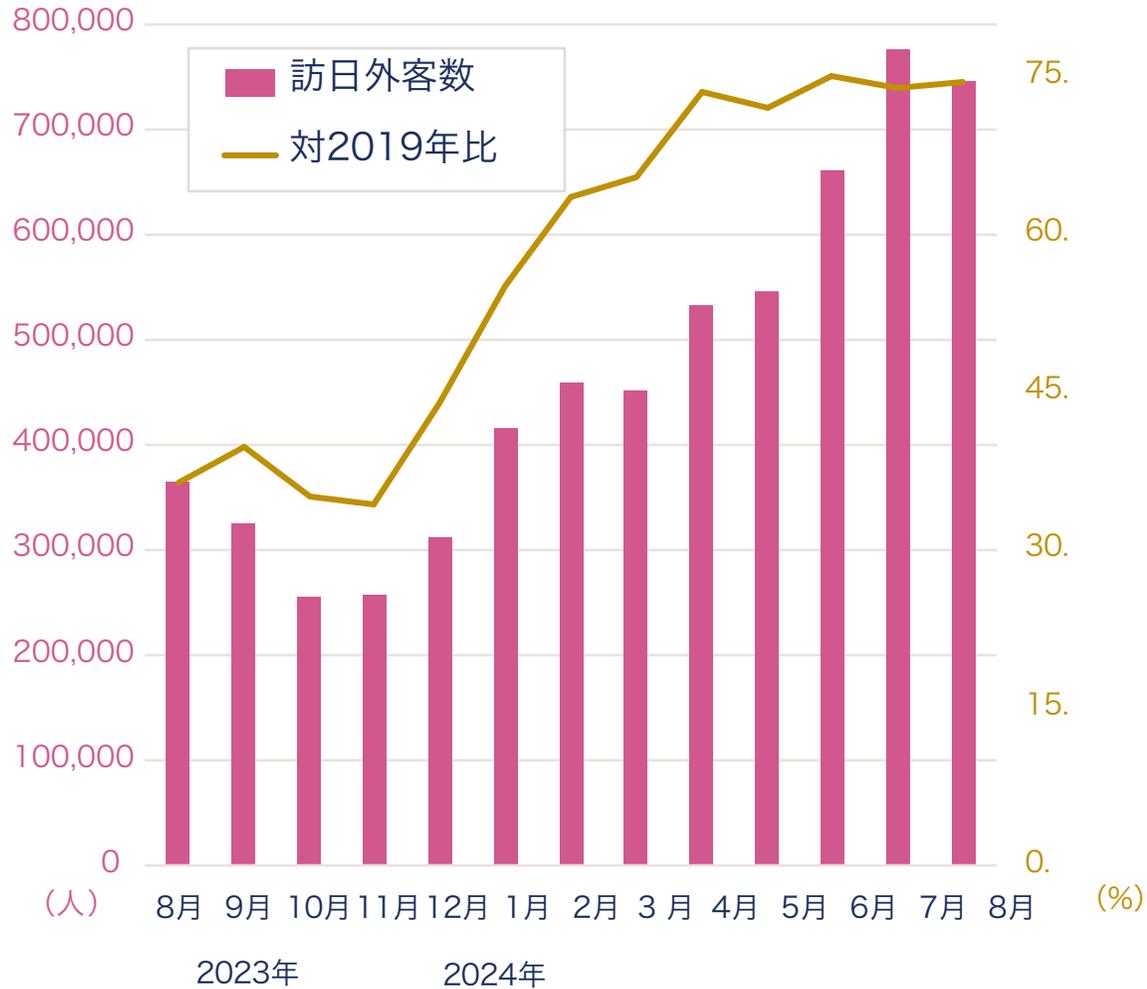
2024年7月の訪日外客数は、前年同月比136.0%、2019年比116.4%の293万3,000人で、7か月連続で同月過去最高を記録しました。一方で、3月～7月まで続いていた単月訪日数300万人以上という記録には届かず、ひとまずの落ち着きを見せた様子です。

	2024年8月 主要国 訪日数 (人)	8月 対2019年比 (%)	8月 対2023年比 (%)
総数	2,933,000	116.4	136.0
韓国	612,100	134.9	107.6
中国	745,800	74.5	204.7
台湾	564,300	134.3	142.4
香港	246,600	129.6	119.6
シンガポール	24,800	125.9	122.3
インド	16,100	121.0	125.5
米国	174,000	147.7	125.8
英国	29,400	112.2	123.3
豪州	41,000	152.1	148.7
メキシコ	12,100	252.0	146.9
中東地域	11,400	182.3	131.0

主要な市場のうち7割で 8月として過去最高を記録

23市場のうち17市場において、8月として過去最高を記録し、イタリア・スペインでは単月での過去最高も更新しました。

台風7号による航空便欠航等の影響が見られたものの、前月に引き続き学校休暇による訪日需要の増加もあり、中国、シンガポール、インド、米国などで前年同月に比べて訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となりました。



訪日中国人数は74万人 2019年比74.5%

2024年8月の訪日中国人数は、2019年比74.5%、前年比ではおよそ2倍の74万5,800人でした。

8月も7月と同様に、韓国の61万人に大きく差をつけ、最多の訪日人数となっています。10月1日の国慶節も間近に迫っており、訪日中国人のさらなる増加に期待が高まります。

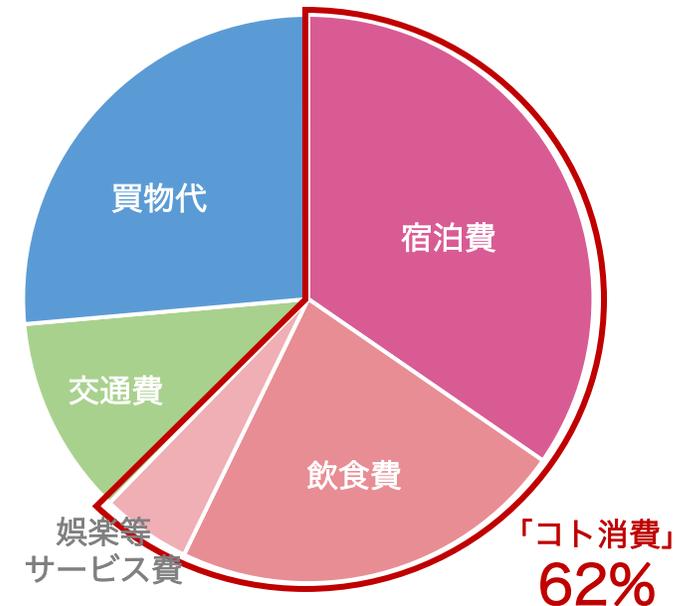
2023年の訪日消費額は6割が「コト消費」 24年も同水準の勢い

観光庁がまとめた2023年の訪日外国人消費動向調査によると、インバウンド需要もショッピングなどの「モノ」から体験型の「コト」へと移り変わっています。

23年の訪日外国人1人あたり平均の旅行支出は19年比134%の21万2764円。このうち宿泊費や飲食費、テーマパークの入場料などの娯楽サービス費を合計した「コト」消費が、総支出の62%を占め、19年の56%から大幅に増加しました。

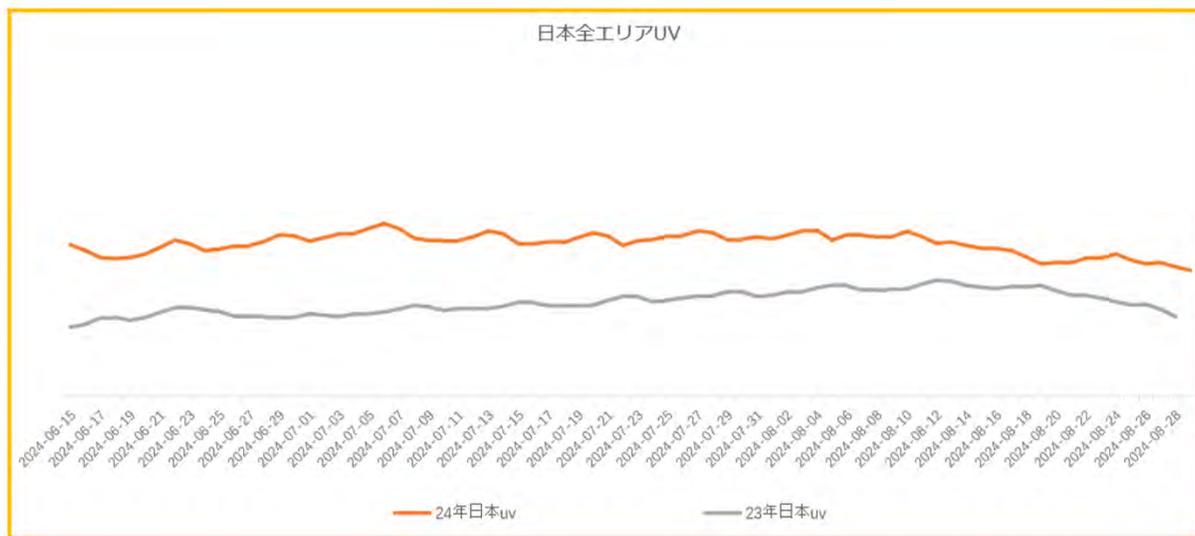
「コト」消費は特に欧米からの訪日客に多く、英国など9カ国では1人あたりの支出に占める額が70%を超えています。

また、「爆買い」が流行語になった2015年は中国客1人あたり支出の6割が買い物代を占めていましたが、23年は中国を含むアジアの11カ国・地域においても「コト」消費が59%と最多となりました。



24年夏季、中国人観光客の訪日意欲は好調な数値を記録

大衆点评 日本エリアのユーザー数推移



店舗カテゴリー別閲覧トラフィック

ランキング	カテゴリー別	ランキング	カテゴリー別
1	居酒屋	1	ショッピングモール
2	ラーメン	2	洋服・靴・鞆
3	お寿司	3	アウトドア
4	焼肉屋	4	ラグジュアリーブランド
5	喫茶店	5	ドラッグストア
6	すき焼き屋	6	スーパー/コンビニ
7	日本式ファーストフード	7	その他の買い物場所
8	軽食・定食屋	8	ジュエリー
9	ベーカリー・パティスリー	9	家電量販店
10	海鮮	10	お土産屋

飲食

ショッピング

「大衆点评」日本エリアにおける2024年夏休み期間のユーザー数は、2023年と比較して顕著に増加。また、店舗カテゴリー別の閲覧トラフィックランキングを見ると、飲食では居酒屋やラーメン、寿司が上位に、ショッピングではショッピングモールや服飾品、アウトドア用品が上位に入っています。

大阪観光局、24年の訪日消費額2兆円に 目標を上方修正

大阪観光局は、2024年に大阪を訪れるインバウンドの消費総額の目標を、従来の1兆6000億円から2兆円に引き上げました。

背景には好調な百貨店免税売上高などがあり、従来2025年の目標に掲げていた2兆円を1年前倒しの目標にする上方修正という形になります。

1人あたりの消費単価も伸びを見込んでいますが、東京などにはまだ及ばないとみて、夜間観光の活性化や大型クルーザーの誘致に取り組む方針のようです。

2025年には「大阪・関西万博」を控えていますが、万博期間中の経済波及効果はおよそ2.9兆円に上るという試算が発表され、来場者全体のうち12%は海外からの来場であるとも推計されています。

来年に向けて、さらなるインバウンド誘致の加速が見込まれます。





Japan ticket